


自動出欠モジュールについて

自動出欠モジュールを使用することにより、自動的に出席を取ることができます。事前設定した時間割に基づき、学生がコースにアクセスすると、出席が自動的に記録されます。

(1) マイコースにアクセスし「 自動出欠 / Auto-Attendance」をクリックします。

(2) 「授業登録」をクリックします。

(3) 必要事項を入力して「授業を登録」をクリックします。



授業一覧 授業登録 出欠レポート ユーザリスト クラス定義 評点設定 メンテナンス コースに戻る

複数の授業を登録する :: サボデ検証用

複数のセッションを登録する

出欠確認方法: 自動 半自動 手動

授業開始日: 2020 8月 13

授業終了日: 2020 8月 13

授業の曜日: 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜 日曜

間隔: 1 週

授業開始時刻: 15 時 35 分

授業時間: 00 時間 30 分

遅刻許容時間: 0 分

出欠キー: ランダムキー

教室のIP:

同一IPの禁止:

説明:

授業を登録

複数のセッションを登録する 毎週同じ曜日・講時で登録できます

出欠確認方法 → 自動 コースページへのアクセスログに基づいて出欠をとります

出欠確認方法 → 半自動 学生が「自動出欠」モジュールを開き、下記の「出欠キー」を入力すると、出席状態になります。*1

出欠確認方法 → 手動 教員が手動で出席・遅刻・欠席状態を操作します。

授業開始日 「複数のセッションを登録する」にチェックを入れている場合、期首を設定します。チェックを入れている場合、出欠を取る授業日を設定します。

授業終了日 期末を設定します。※「複数のセッションを登録する」にチェックを入れている場合に動作します。

授業の曜日 授業曜日を設定します。※「複数のセッションを登録する」にチェックを入れている場合に動作します。

間隔 講義の間隔を設定します。通常は「1 週」です。※「複数のセッションを登録する」にチェックを入れている場合に動作します。

授業開始時刻 授業の開始時刻を設定します。

授業時間 授業時間を設定します。通常は「1 時間 30 分」です。

遅刻許容時間 授業開始後何分で「遅刻」表記をつけるか選択します。

出欠キー 学生は「自動出欠」モジュールを開き、ここで設定した「出欠キー」を入力すると、出席状態になります。※出欠確認方法が半自動の時に動作します。

(4) 自動出欠の設定は終了です。

<機能紹介>

手動出席操作

「授業一覧」の「操作」欄、🟢 アイコンをクリックすると、手動で出席を操作できます。

授業一覧 授業登録 出欠レポート ユーザリスト クラス定義 評点設定 出欠表 メンテナンス コースに戻る

講義の出欠更新 :: サボデ検証用

全ての出欠 ▾

リフレッシュ 授業実施日: 04月16日(木) 11時25分 - 11時55分 手法: 自動 説明: なし クラス: クラスなし (0/2)

#	名/姓	ID	クラス	出	欠	遅	早	未	手法	時刻	IPアドレス	備考
1		-	クラスなし	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	自動	-	-	<input type="text"/>
2		-	クラスなし	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	自動	-	-	<input type="text"/>

OK リセット 戻る

出欠確認

「出欠レポート」をクリックすることで、出欠状況が確認できます。

授業一覧 授業登録 出欠レポート ユーザリスト クラス定義 評点設定 メンテナンス コースに戻る

出欠レポート :: サボデ検証用

Excel でダウンロード テキストでダウンロード

全期間 ▾

名/姓	ID	点	%	出	欠	遅	早	未	04/16	04/16	04/16	04/16
	-	2	25.0%	1	3	0	0	0	欠	出	欠	欠
	-	0	0.0%	0	4	0	0	0	欠	欠	欠	欠

出欠状況のデータファイル化

「出欠レポート」から「Excel でダウンロード」をクリックすることで、出欠状況を Excel 形式でダウンロードできます。

※1 出欠確認方法を「半自動」に設定した場合

学生に対して、下記の通り対応する必要があります。

- (1) 出欠キーを伝える
- (2) 自動出席モジュールを開き、出欠キーを入力してもらう